



(一社)いわき市薬剤師会
いわき市中央台飯野4-2-4-4F
☎ 0246-46-0430
FAX 0246-46-0431
URL <http://www.iwaki-pa.or.jp/>
発行 広報情報委員会

平成28年2月15日発行



会長挨拶 2016 年年頭所感

一般社団法人いわき市薬剤師会 会長 長谷川祐一

2016 年を迎えるにあたり、ごあいさつ申し上げます。

昨年は我々薬剤師にとって試練の年でありました。新年度を迎えた頃からの薬歴の不適正な未記載の報道など厳しい批判を受けました。その後の経済財政諮問会議や財政制度等審議会による薬局に対する批判は耐え難いものになりました。それを受けた調剤報酬の行方については皆様も年末の報道等で知るに至っていると思います。2016 年度診療報酬改定の改定率は、医師や薬剤師らの技術料に当たる本体部分を 0.49%引き上げる一方で、薬価と医療材料価格で 1.33%引き下げ、全体では 0.84%のマイナス改定で決着しました。医科、歯科、調剤の財源配分比率は、これまで通り「1:1.0:3」が維持はされましたが、厳しい環境での新年度のスタートが予測されます。

8 月から 12 月まで数回の国会議員への陳情を行いながら感じたことは、今回の改定においては、財務省、厚生労働省、医療関係団体からの批判がベースにあり、これを何とかここまで回復させたのが国会議員さんたちの支援だったということです。政治的な決着といっても過言ではない今回の調剤報酬改正のプロセスは、私たちに薬剤師としての公益的な事業を通じた社会貢献、政治的活動、これらの基盤を支える連盟の活動の重要性を確信させました。これまで参加に消極的な会員の皆様、これから我々の薬業界の未来を担う若い世代に政治活動の重要性を訴えていかなければならないと思いました。

今回制定される薬局ビジョンの順守、地域包括ケアシステムの参加、健康情報拠点事業、を薬剤師の業務や職能に大きな変化をもたらすと思います。時代の流れとともに変わります。我々も職能においてこれまでの計数調剤のみならず、アドヒアランスの概念を実践していくこと並びに公衆衛生を担う医療人としてのアビリティがより多く多様に要求されてきます。この世の中は常に移り行くもの利権も権力もすべては変化しつつこの変化に順応していくことがこれからも求められていくのではないのでしょうか？

「生生流転」、「諸行無常」の言葉がある通り、2016 年は変化の年であると思います。この変化を受動的に受けるのではなく、能動的に過ごしていけるよう役員一同会員の皆様と歩んでいきたいと思ひます。変わらぬ御支援と御協力を賜りますよう願ひます。



表彰…おめでとうございます

下記の表彰状が執り行われましたことをご報告いたします。

福島県くすりの週間実行委員会委員長表彰

葛西 恵子 先生
竹下 真紀子 先生



●各種お知らせ



○県立診療所における調剤師体制の支援について (依頼)

このことについて、福島県病院局より、2月から開設する県立大野病院付属ふたば復興診療所に配属する薬剤師が 1 名であることから、休暇等の取得や体調不良時等の支援体制の構築が求められています。つきましては、応援薬剤師を次により募集いたしますので、奮って応募して下さるようお願いいたします。

ただし、管理薬剤師応募は不可能です。

現在、応募者が定員に満たないため、随時募集しております。

- 1 施設名 県立大野病院付属ふたば復興診療所
- 2 所在地 双葉郡楢葉町大字北田地内
- 3 診療科目 内科 (常設)、整骨外科 (月・水・木の週3回)

*その他詳細は事務局にお問い合わせください。



○保険調剤に係る月別件数等の報告

以下の 6 項目を所定の報告様式にて、管轄の保健所または保健福祉事務所へ 2 月 29 日までに提出ください。なお、報告様式は、薬務課ホームページからダウンロードできます。

- 1 月次別処方せん取扱枚数 (平成 27 年 1 月～12 月)
- 2 平成 27 年において業務を行った期間
- 3 平成 27 年において業務を行った日数
- 4 応需した処方せんの発行医療機関数 (平成 27 年 10 月～12 月)
- 5 平成 27 年 10 月から 12 月までの 3 か月間に応需した処方せんの発行医療機関名
- 6 平成 27 年 12 月における 1 日当たりの平均従事薬剤師数

○薬局機能情報報告 (定期報告)

医療法第 8 条の 2 第 1 項に基づき、毎年 12 月 31 日現在の薬局の情報を 3 月 31 日までに管轄の保健所へ報告することが義務付けられています。基本情報以外の情報 (認定薬剤師など) についても確認し、期日までに報告をお願いします。



裏面へ・・・

樹雨 (きさめ)



2016年
新春号

(一社)いわき市薬剤師会
いわき市中央台飯野4-2-4-4F
☎ 0246-46-0430
FAX 0246-46-0431
URL <http://www.iwaki-pa.or.jp/>
発行 広報情報委員会



研修会の予定

- 2月17日：いわき地区糖尿病講習会
『最近の糖尿病治療について～DDP-4 阻害剤中心に～』
会場：いわきワシントンホテル
- 2月17日：地域の薬剤師ミーティング
『ジェネリック医薬品の推進』
適切な保健周剤と請求について
会場：いわきニュータウンセンタービル 1F 会議室
- 2月18日：いわき明星大学薬学部 第16回生涯学習研修会
『臨床薬学からみた近未来の高血圧症』
会場：いわき明星大学薬学部棟 16-108 講義室
- 2月19日：いわき骨粗鬆症治療 学術講演会
『最新の骨粗鬆症治療の動向』
会場：グランパークホテルパネックスいわき
- 2月22日：いわき南部地区学術講演会
『事例に学ぶ糖尿病治療のコツ』
会場：小名浜オーシャンホテル
- 2月27日：第11回いわき糖尿病療養指導・看護を考える会
『最新の糖尿病管理～コメディカルが担うこと～』
会場：いわき市総合保健福祉センター
- 2月29日：いわき抗凝固療法カンファランス
『PCI後の併用療法の問題点を治療ガイドラインと
臨床エビデンスから考察する』
会場：いわきワシントンホテル 椿山荘
- 3月2日：持続血糖モニター (CGM) からみた糖尿病治療の最適化
～SGLT2 阻害薬の可能性も含めて～
会場：いわきワシントンホテル 椿山荘
- 3月11日：変形性膝関節症の治療戦略
会場：いわきワシントンホテル 椿山荘
- 3月14日：メトホルミン療法の新展開
会場：グランパルティいわき



候補にあがったのが、安藤信正公や片寄平蔵さんなどがありましたが、当時、いわき桜ロータリーの会長でもあり、薬剤師の立場でもあった私は、星一さんを選びました。

たまたま、広島から紙芝居の寄贈があり、各小学校などで星一物語の紙芝居の上演を現在でも地道に続けております。

いわき駅北口にほっこり微笑んで佇んでいる“星一”さん ご覧になったことがありますか？

(この銘板はいわき桜ロータリークラブと京都西山ロータリークラブの寄贈により、県立桜ヶ丘高校の6名の美術部員により描かれたものです。)

東洋の製薬王と言われ、野口英世を援助し日本に帰国させた、そんな彼がいわき市の出身だということをご存じでしょうか？

そしてSF作家の星新一さんのお父さんだということをご存じでしょうか？

勿論、星薬科大学の創設者でもあります。彼の信念の中にある“親切第一”がどのくらいのものだったかは、大学を創設する経緯の中にも存在しています。

当時、町村に一つの薬屋さんをとの思い、薬屋さんに同じ知識を持ってもらいたいとの思い、それが学校の創設につながったことなのです。

星一さんは、今の私達、薬剤師の姿が見えていたのかと思います。

未来予想図が彼の中にきちんとあったことは確かなことだと。

政治的な手腕もあった彼は、当時の参議院議員も全国区でトップ当選をはたしました。彼の“親切第一”の心は選挙権のなかった女性にたいしても、政治の勉強をしてもらいたいとの思いがあることから垣間見ることが出来ます。



100年早く生まれてしまった“星一”さん。

今生きていたら、今の薬剤師の現状をどのように思っているのでしょうか。

私達薬剤師が行っている業務は、ほとんどの国民は理解できていないと思います。

ただ、単に薬を出している人だという認識がほとんどだと思います。

皆、声に出して言ってみましょう。

どれだけ私達ががんばっているのかを。

そして、時には真摯に医療に取り組んでいる私たちの姿を、時には白衣を脱いで皆の声を聞いている姿を、胸を張って堂々と皆に伝えてみましょうよ。

今、私達薬剤師が持っている“親切第一”の心を、100年前に伝えてくれた星一さんの思いを胸に感じてみませんか。

— Topics —



星一さんの足跡をたどる

いわき市薬剤師会副会長 竹下真紀子

私はいわき桜ロータリークラブにも所属しております。東日本大震災後、世界中のロータリーからの援助を目の当たりにしてきました。

私たち、いわき桜ロータリーにも台湾や京都のロータリークラブより申し入れがあり、実際にアクアマリンに車の寄贈、保育園にお散歩エアバス、介護施設に車イス付きのワゴン車、ガイガーカウンターなどの寄贈をしてきました。

しかし、震災後4年が過ぎ、心のケアが大切だと感じてきました。縁がありいわきの土地に生を受け生活していた子供達の中には、いわきを離れた子供達や将来に不安を感じながらも生活している現状があります。

大人になった時に誇れる何かがあればとの思いから、郷土の偉人を紹介しようと“郷土愛を育むプロジェクト”をはじめました。



おまけ



日本人がチョコレートに一番縁のある日がバレンタインではないでしょうか。この期間だけで1年間の約12%のチョコレートが販売されているようです。

バレンタインではチョコを手作りしたり買ったりする人も多いと思いますが、実はチョコレートの購入平均金額で一番高かったのは自分へのごほうびチョコという人が多いみたいです。男性の皆さん知っていましたか。

また、「ミルクよりブラックのほうが低カロリー」というイメージを皆さんはお持ちではありませんか？実はカロリーも糖質量も脂肪量もあまり変わりません。むしろブラックの方がカロリーは高めなのです。違いはミルク(乳製品)とカカオマスの分量の違いなので、単なる低カロリーのものを食べたいのなら気をつけましょう。